

秀峰



豊成中学校第3学年 学年だより

— 学校教育目標 —

深く学び 未来に向かって
～学びを深め 心を開き 道を拓く～

R2. 3. 7 No.48

ご卒業おめでとようございます

「 節 目 」

秀峰学年の皆さん、卒業おめでとようございます。中学2年の新任式・始業式からあっといいう間に時間が過ぎた感じがします。時間の感じがそれぞれ違うと思いますが、豊成中で過ごす中で、みなさんにもたくさん節目があったと思います。10回以上のテスト、前期選抜試験。三年間の全てをかけて練習や準備に取り組んだ吹奏楽コンクールや各種大会、豊中祭など思い出の学校行事。そして大変な状況の中で乗り越えた一般選抜入試。豊成中で過ごした三年間で皆さんは様々な節目を経験し、成長につなげました。竹は節目があるから強くまっすぐに伸びるそうです。豊成中学校で学んだこと、経験したこと、そして今日の卒業式を15人それぞれの節目として、まっすぐ更なる高みへと飛躍してください。たくさん思い出をありがとう。最後になりますが保護者の皆様には沢山の支援ご協力をいただきありがとうございます。お子さんと過ごした、かけがえのない時間に加え、PTA授業参観(球技)やアルミ缶大回収後の時間!など心に残る時間をいただきました。心から感謝申し上げます。お子さんのご卒業、本当におめでとようございます。

3年学級担任 湯野澤兄一

秀峰学年のみなさん、ご卒業おめでとようございます。「大切なもの」「結」「瞳」これらの曲をみなさんはいろいろなステージで披露してききました。その度に聴いてくださった方々から「素直な歌声」「この人数に関わらずひたひたの言葉が表裏をわきまをいりたが自らの役割を果たそうとしていること」などたくさんのお褒め言葉をいただきました。私は「歌」とりわけ「合唱」はその人自身、集合そのハモニーもかなかな決まっています。逆に集団そのものがうまくいっていないときは多量のハモニーの乱れなんかもありません。逆になんか強さや歌心があります。私はみなさんと合唱をつくりあげた過程が大好きでした。うまくいかなかったら落ち込んだこと、それぞれ思いがぶつかってきたこと、これらはすべて合唱&集団にさらに磨きをかけてスパイスになっていきました。その集大成として卒業式歌うことを決めた「僕のこと」。涙をこらえながらも最後まで歌いきろうとしたであろうみなさんの姿が目には浮かびます。そして今だからこの歌詞をかみしめています。

「僕は僕として 今を生きている とても愛しいことだ」

秀峰学年のみなさん、新たなステージでも自分を大事に(自分を大事にできる人は周りも大事にできます!!)、自分らしく生きてください。最後になりましたが、保護者のみなさま、お子さまのご卒業おめでとようございます。卒業を迎えるこの日まで世間の状況が刻一刻と変わる中、至らない部分も多かったことお詫び申し上げます。この状況が収束してから、新しい制服に身を包んだ秀峰学年の子どもたちと再び会えることを楽しみにしております。本日までいろいろな面でのご理解、ご協力本当にありがとうございました。

3年主任 若畑 康子



大きく羽ばたけ秀峰学年